19　　予言を信じさえすれば 　　　 　　否定形②　部分否定と全部否定

㆑　　、「郎　君　大　、ａ㆑ ㆑。」㆓　薬　一　一、二　　一レ　、「来　年、火　　　　㆑　、　　　　。　薬　力、　㆓　一　　　。」縦　不㆓ ㆒。㆓ 　　㆒。隠　娘　　㆑　所㆑　、　沈　　而　。後　一　年、　不㆑ ㆑　、　㆓　于　陵　㆒。ｂ㆑此　㆕ 　㆔　 隠　㆒矣。

【本文チェック】

①傍線部ａ・ｂを書き下し文にし、（　）に書きなさい。

ａ（　　　　　　　　　　　。」と。）

ｂ（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②波線部を現代語訳し、〔　〕に書きなさい。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

③点線部に、書き下し文を参考にして返り点をつけなさい。

方に此の禍ひを脱せん。

　　　。

【語彙力 ✚】＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

問１　次の語句の読みを現代仮名遣いで答えよ。

１　適〔１〕（　　　　　く）

２　甚〔４〕（　　　　だし）

３　但〔５〕（　　　　　だ）

４　復〔６〕（　　　　　た）

問２　次の語句の意味として最も適当なものを選べ。

１　遺〔４〕　ア　着る　　イ　破く

ウ　贈る　　エ　返す

（　　　）

２　果〔５〕　ア　ついに　　イ　なんと

ウ　すぐに　　エ　そこで

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　□①・②に、現代語訳を参考にして送り仮名を補え。

１　伯　　不㆓ 常①　㆒。　（伯楽はいつもいるとは限らない。）

①（　　　　　）

２　伯　　常②　不㆑ 。　（伯楽はいつもいない。）

②（　　　　　）

問４　次の文は部分否定か全部否定か答えよ。

１　寡　人　不㆓ 　　。（　　　　　　　）

２　勇　　　不㆑　㆑　仁。（　　　　　　　）

問５　次の文を書き下し文に改め、現代語訳せよ。ただし、部分否定・全部否定の箇所は送り仮名を省いている。

１　　　㆓ 俱　㆒。＊勢＝成り行き。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　㆑ 言　　不㆓ 必　一レ　徳。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　心　常　不㆑　。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

４　説　　　哉、　復　不㆑　。

＊説＝言説。　＊哉＝置き字。　＊雖＝～ものの。　＊遂＝全うする。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【探究】表現してみよう

問６　次のどれかを選んで、その時の隠娘の思いを述べてみよう。

ア　隠娘は、縦からの贈り物をいっさい受け取らなかった。

イ　隠娘は、ただ深く酒に酔って立ち去った。

ウ　隠娘は、人前に二度と姿を見せなかった。

〔

〕

【解答】

【本文チェック】

①　ａ＝当に此に適くべからず

　　ｂ＝此より復た人の隠娘を見ること有る無し。

②　縦にこれ（薬）を飲ませて言うには、

③　方　脱㆓ 此　禍㆒。

問１　１＝ゆ　２＝はなは　３＝た　４＝ま

問２　１＝ウ　２＝ア

問３　①＝ニハ　②＝ニ

問４　１＝部分否定　２＝全部否定

問５　１　書き下し文＝其の勢ひ俱には生きざらん。

現代語訳＝その成り行きとして、両方とも生き残るとは限らない（だろう）。

　　　２　書き下し文＝言有る者は必ずしも徳有らず。

　　　　　現代語訳＝言葉がある者は必ずしも徳があるとは限らない。

　　　３　書き下し文＝心常に楽しまず。

　　　　　現代語訳＝心はいつも楽しまない。

　　　４　書き下し文＝説行はると雖も、然れども復た遂げず。

現代語訳＝言説は行われはしたものの、しかしながら今回もまた全うすること

ができなかった。

問６　観点　アの場合は縦に信じてもらえず、品物だけ頂くわけにはいかないという思い、イの場合は縦に信じてもらえなかったことに落胆する思い、ウの場合は最後まで縦に信じてもらえなかったことや命を救えなかったことへの悲しみなど、その時々の隠娘の思いを適切に表現していること。

【書き下し文（現代語訳）】

問３　１　伯楽は常には有らず。

２　伯楽は常に有らず。

問４　１　寡人復た子をさず。（私は二度とはあなたを許さない。）

２　勇者は必ず仁有らず。（勇敢な者は必ず仁の心がない。）